

トップマネジメントを中心とするサステナビリティ推進体制を整備

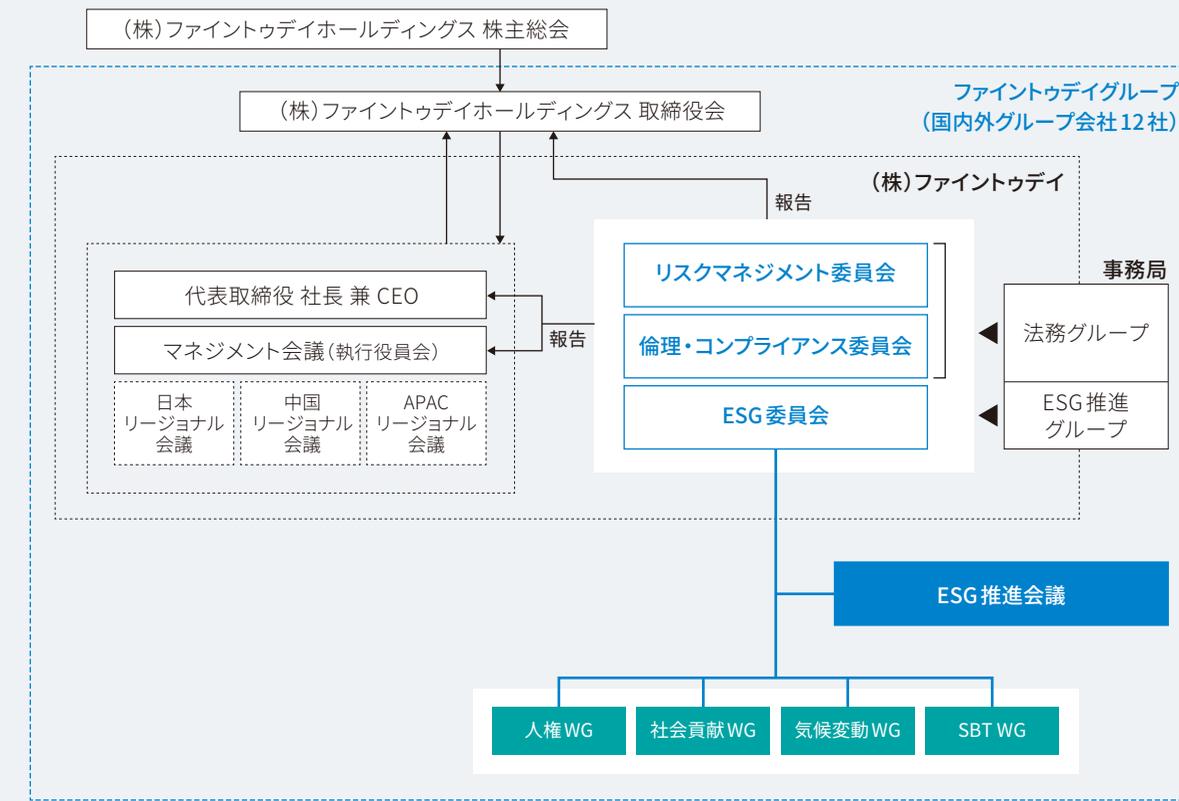
ファイントゥデイグループは、ESGに関するリスクの把握・評価やサステナビリティ活動における方針・計画の策定などを担う組織として、ファイントゥデイの代表取締役社長兼CEOが責任者を務める「リスクマネジメント委員会」「倫理・コンプライアンス委員会」「ESG委員会」を設置しています。

ESG委員会のもとには「ESG推進会議」と「ESGワーキンググループ(WG)」を設置。各部門が実行するサステナビリティ活動計画のフォローや、注力テーマに関する実行計画の策定などについて中心的な役割を果たしています。

またファイントゥデイグループでは、役員、本部長の報酬決定に当たり、サステナビリティに関する指標を反映する制度を導入*しています。

* 2023年度は下半期から運用を開始し、実際の報酬反映は2024年度からです。初年度の指標はEcoVadis評価結果とエンゲージメントサーベイ結果の2つを予定していますが、追加の指標や導入時期は今後検討していきます。

サステナビリティ推進体制 (2023年5月時点)



リスクマネジメント委員会／倫理・コンプライアンス委員会

開催頻度	四半期に1回
委員長	(株)ファイントゥデイ 代表取締役社長兼CEO
構成メンバー	ファイントゥデイ本部長、その他指名された者
主な役割	<ul style="list-style-type: none"> • リスクの管理方針・計画の策定、運用 • インシデント発生時の緊急事態対応 • 倫理・コンプライアンスにかかる重要事項の調査 • コンプライアンス教育のPDCAに関する審議

ESG委員会

開催頻度	四半期に1回
委員長	(株)ファイントゥデイ 代表取締役社長兼CEO
構成メンバー	ファイントゥデイ本部長
主な役割	<ul style="list-style-type: none"> • パーパス、中長期ビジョンの実現に向けた実行計画の策定 • 気候変動を含むESG戦略・投資についての議論 • ESG推進会議から上程された事項の審議・決定 • グループ全体のサステナビリティ活動推進状況の確認